

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2011 Autumn



Contents

- ・ 大石ガバナーからのメッセージ
 - ・ 山浦国際理事からのメッセージ
 - ・ 委員会だより
 - ・ 地区内クラブだより
 - ・ 災害復興支援と青少年育成 (薬物乱用防止)
-



東日本の被災地には地区独自に、 また全日本レベルでの支援体制を…

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナー 大石 誠

この度、米国シアトルで開催された第94回国際大会に於いて、330-A地区ガバナーに就任させていただきました、東京数寄屋橋ライオンズクラブ所属のL大石誠でございます。

これ迄にお寄せいただきました、温かいご支援に心より感謝申し上げますと共に、今後とも更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今期は、日本にライオンズクラブが誕生して60年になります。この輝かしい歴史と伝統を築いてこられました、歴代のガバナー・クラブ会長を初め会員の皆さまに敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

初めに、この度の東日本大震災で被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、その救援と復興に最大限の支援をすることがライオンズクラブとしての最優先課題であると考えています。

そのために、地区の独自性と全日本レベルの支援体制との連携を図りながら、中長期的な復興支援を行います。

また私は、ライオンズクラブの活動の原点であるクラブの活性

化、会員の維持と増強、エクステンション、そして環境保全、更に明日のライオンズ発展の基礎となる青少年の健全育成とライオンズクラブの法人化について、会員の皆さまと英知を結集して解決に努力をいたします。

主な取り組みは「子供達を薬物乱用から社会全体で守る」をテーマに、“薬物乱用防止”をライオンズ奉仕デー〈10月16日(日)〉に、全クラブとキャビネットが連携して開催をいたします。

また、危機的な状況にある会員増強について、今期は、各クラブとキャビネット役員の方々が具体的に数値目標を設定し、その実現に努力をしていただき、会員の減少傾向に終止符を打ちたいと考えております。

更に、国際会長方針の100万本植樹キャンペーンを環境保全委員会と各クラブが連携して推進をいたします。

終わりに、地区並びに地区内クラブの発展のために全力を尽くしますので、会員の皆さまの絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



今こそライオニズム“We Serve”の 原点に戻り被災者の支援を…

ライオンズクラブ国際協会理事 山浦 晟暉



去る7月4日からライオンズクラブ国際協会 第94回、国際大会がアメリカ西海岸最北シアトルにて、世界123ヶ国から13,142人が参加(日本からは1,273人)盛大に開催され、このシアトルの大会に於いて、今期国際会長に中国から初めてライオンDr.ウインクン・タムが国際会長に就任されました。

ライオンズクラブ94年の歴史上、東南アジアからの国際会長は4人目であり東洋人としては喜びと誇りでもあります。

日本からも2013年、MD334のL.山田實紘を何とか国際第二副会長に選出したい気持ちで一杯であります。

又、第一副会長にはアメリカのL.ウェイン・A・マデン、第二副会長にはオーストラリアのL.バリー・J・パーマーが選出されると共に、日本から2011年~2013年の国際理事としてMD332 L.秦従道(はたづみち)、MD334 L.高田順一が就任、会長よりアポイントとしてMD334のPID、L.山田實紘(やまだじつひろ)が選出されました。

今期、不肖L.山浦晟暉は国際理事として2年目を迎え、1年国際理事の協力の中でリーダーシップを取らねばならぬ立場と成ると共に、今期の国際協会の理事会にてLCIF(ライオンズクラブ国際財

団)前国際会長シド・スクラッグス理事長の下で副理事長、又奉仕事業委員会副委員長を拝命する事と成り、各々その重責を感じずにはいられない毎日であります。

今期私は、東日本大震災復興支援対策本部の本部長として、被災地への救援活動に皆さまと共に日夜、時間を費やし一時も早い復興を願う毎日であります。

東北の被災を受けたメンバーの忍耐力と団結力、そして強い絆に敬嘆せずにはいられません。

3月11日に発生した大災害により、メンバーの犠牲者は32人、被災者数百人の大災害にも拘らず3ヶ月を経過した6月末、被災地のMD332地区のみが会員増でありました。

悲嘆な災害の現状をバネに立ち上がろうとする被災地の方々の勇気と決意と行動力に感銘し、更なる救援支援活動継続を推進したいと思えます。

我々は、この災害復興の一助と成るべく今こそ“ライオニズムWe Serve”の原点に戻り立ち上がるではありませんか。



女性と家族の入会はライオンズの活気を保つうえで不可欠です！親睦を深めチームで奉仕を！

活躍が期待される家族会員・女性参加推進委員会



家族会員のメリットはなんですか？

クラブにとっては会員の増強と若い会員の勧誘が可能となります。
 会員にとってはクラブに熱意に満ちた新しい会員が入ることで、奉仕アクティビティに新たな方向性が見出せるというメリットがあります。
 成人会員にとっては自らのライフスタイルや時間的ニーズに合ったボランティア活動に取り組むことができるようになるため、家族と過ごす時間が増えるというメリットがあります。
 若年家族会員にとっては、ボランティアすることの重要性和楽しさを早くから身につけられるメリットがあります。
 家族にとっては家族で過ごす時間が増えると同時にボランティア経験を分かち合えるメリットがあります。
 ライオンズクラブ国際協会にとっては家族を主体とするライオンズクラブを通してボランティアリズムの伝統を後世につたえることにより、長い将来の発展に寄与するというメリットがあります。
 家族会員・女性会員を主体に地域に向けての奉仕活動に参加していただくため、セミナー形式ではなく下記の参加型の企画をいたしました。

当委員会はガバナーの方針に従い家族会員の維持・増強並びにライオンズ女性メンバー・ライオンレディ・ライオネス。入会をお考えの女性の方々に共に充実したライオンズ精神に基づく奉仕活動に参加していただくことを使命とした委員会です。
 メンバーのご家族と家族ぐるみのお付き合いをお考えください。
 ライオンズの奉仕活動にはご家族のご理解とご協力がなければならぬことも多く重要な存在です。
 このプログラムに賛成できないクラブもありますが、全てのクラブの家族会員制度が適しているわけではありません。本制度の導入を成功させるには会員が熱意をもって受け入れる事がクラブには必要です。
 十二分に理解し家族会員を増やすために必要な変化を遂げる準備がなくてはなりません。
 是非クラブ内で家族会員制度について話し合ってください。

ライオンズクラブのメンバーの平均年齢が高くなっています。若手を早急にメンバーにしたいと思っても会費の問題や仕事や子育てに時間的制約が多く伸び悩んでいます。その点家族会員は会費が考慮されており、是非、ご入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。
 女性参加推進につきましては、今期はセミナーやフォーラムなどの形式ではなく、気楽にご参加いただけるアクティビティをご提案いたします。
 家族会員もご参加いただき、東日本大震災でご家族を亡くされた被災地の方々に、心の支援をするべく、10月16日(日) 13:00~16:00に行われます薬物乱用防止キャンペーン会場(日比谷公会堂)に於いて、お見舞いのカードを作成いたします。その後12月19日(月) 15:00~17:00に下記6会場に於いて、1200名分の手作りのお菓子を焼いて、クリスマスプレゼントとして翌20日に被災地にサンタクロースとともにお届けいたします。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



小川晶子委員長

会場：ABCクッキングスタジオ(1day レッスン希望教室にて) 参加費：3000円(レッスン料・材料費・包装資材・送料) 申し込みはFAX(03-5330-3370)にて



ABCクッキングスタジオで被災地応援

日時：2011年12月19日 15:00~17:00



幸せを呼ぶ
ホワイトボールクッキー

スタジオ	住所	人数
ABC丸の内スタジオ	東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビルディングB2	30
ABC新宿pepeスタジオ	東京都新宿区歌舞伎町1-30-1 西武新宿PePe4F	20
ABC渋谷ハルコスタジオ	東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷PARCO PART3 7F	30
ABC八王子 東急スクエアスタジオ	東京都八王子市旭町9-1 八王子東急スクエア9F	20
ABCアリオ亀有スタジオ	東京都葛飾区亀有3-49-3 アリオ亀有2F	40
ABC汐留スタジオ (グラウンド)	東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター3F	24 男性○



家族会員・女性参加推進委員会主催・東日本大震災被災者支援活動 参加申込書

氏名	所属クラブ名	入会年月: 年 月
住所 〒	電話番号	
Eメール・アドレス	携帯番号	

330-A地区家族会員制度ガイドライン

(1)概要

- ①家族会員における家族とは、正会員の配偶者又はそのいずれかの親子(養子を含む)・叔父・叔母・従兄弟・祖父母・その他血縁関係を有する家族関係にある者のこと。
- ②家族会員は、クラブの正会員として、全面的に活動する必要はないが、労力奉仕を中心に活動することが望まれる。
- ③家族会員は、一部を除く正会員としての義務を遂行しているかぎり、正会員の持つ全ての特権を持つことができる。
- ④二人目以降の家族会員は、国際会費(入会金は免除)・複合地区・A地区費は正会員の半額、及び所属クラブの決めた家族会員費を支払わなければならない。詳細は下記の通りである。

支払先金額(円)	金額(円)	内 容
国際本部会費	1,599	\$19.5(2011年1月現在のライオンズレート)
複合地区費	1,380	
A地区費	4,080	地区大会費・地区特別大会費 免除
合計	7,059	

b. 東京合同事務局所属のクラブは、合同事務局費が必要。(但し正会員の1/8) 2,550円
 c. 東京合同事務局に所属していない場合 費用は、各クラブ事務局に一任されている。
 d. 現在ライオン誌は、1世帯に1部 送付されている。
 ・ 家族会員は、希望すれば別途送付可能。費用は年間2,500円である。

- ⑤家族会員は、正会員たる家族会員を含めて五人まで。
- ⑥家族会員として入会后1年と1日以上在籍で、クラブ代議員にカウントされる。
- ⑦二人目以降の家族会員は、例会出席率の算出においては、出席扱いとして分子・分母とも数値に入れて計算。

(2)義務

適用項目	内 容
例会定期出席	義務はないが、随時可能な限り出席すること
会費	各クラブで決める・クラブ事務局費はクラブ規定に従う
クラブ活動参加	随時可能な限り参加のこと
グッド・スタンディング	要

(3)権利及び特権

適用項目	内 容
国際協会・地区・クラブの役員に立候補	可 (クラブ推薦が必要)
投票権	可 (クラブ推薦が必要)
国際または、地区の大会での代議員	可 (クラブ推薦が必要)

注意事項) 1. 上記あくまでも330-A地区のガイドラインであり、その他については国際規約に準拠する。
 なお、各クラブは上記に抵触しない範囲で自主的に内規・細則等を定めて運営することができる。
 2. 本ガイドラインは、2011年3月28日

養護施設の子供たちを励まして30年

昭和55年から続く活動

東京尾張町LC



東京尾張町ライオンズクラブでは、昭和55年から続けているメインアクティビティの一つ、都内の養護施設で生活する恵まれない子供たちを毎年、魚釣りやぶどう狩り、動物園、マザー牧場、八景島シーパラダイスなどに招待して喜ばれている。今年も横浜の「こどもの国」に、約60名の子供たちを招待し、電車などの乗り物に乗ったり、バーベキューを楽しんだりして過ごした。同クラブでは30年前に東京都の団体からの要請を受け、以来31年にわたり活動を続けて喜ばれている。1994年には全国善意銀行連絡協議会から表彰を受けたほか、1996年東京都社会福祉協議会からも感謝状を受け取り、2006年にはボランティア功労者に対しライオンズクラブとしては全国で初めて厚生労働大臣から表彰を受けている。



ドナーフェロシップコンサートを開催

ゲストに日本アイバンク協会へ寄付

東京麻布LC

東京麻布ライオンズクラブ主催の、今年で二回目となったアクティビティ「ドナーフェロシップコンサート」が東京FMホール(東京半蔵門)にて行われた。日本アイバンク協会への寄付を目的とし、今回は俳優小西博之氏やドナーファミリーらをゲストに迎え、女性クラシックグループ「プリモ」の演奏などを楽しんだ。

第三回は平成24年3月17日(土)、サントリーホール(小)での開催が決定している。



高尾山で例会

7月27日

東日本の復興とメンバーの安全を祈願

東京小金井LC

東京小金井ライオンズクラブでは、平成23年7月27日(水)高尾山ロープウェイ駅に集合し、登山を兼ねた例会を行った。例会には小金井LCのメンバーや地区役員メンバーら16名が参加し、山頂の薬王院では東日本大震災の復興とメンバーらの安全を祈願した護摩祈祷が執り行われた。高尾山の大山貫首や菅谷執事長らもライオンズクラブメンバーとのことで、山頂付近には都内のライオンズメンバーらが建立した石碑も数多く存在する。



納涼例会で化粧まわしを贈呈

8月4日

能楽師観世流宗家直門の舞を楽しむ

東京ワンハンドレッドLC



2011年8月4日、東京ワンハンドレッドライオンズクラブ例会において、7月場所で十両昇進を果たした碧山関(みどりやまぜき)へ化粧まわしの贈呈式が行われた。碧山関は、ワンハンドレッドLCのメンバーである田子ノ浦親方の部屋から、初めて出た関取で、クラブ有志を中心に寄付を集めて贈られた。化粧まわしには、親方の名にちなみ、田子の浦から望む赤富士の意匠が鮮やかに描かれ、東京ワンハンドレッドLCの文字が入られた。「当日は、メンバーの能楽師観世流宗家直門の坂口貴信Lの舞から始まり、鏡開きの日本酒で喉を潤して、力士の皆さんと記念写真を撮ったり、握手をしたり、ゲストを含め100人以上が楽しく集う涼やかな会になりました。帰りには碧山関の手形と博多うめ屋の明太子をお土産にお持ち帰り頂きました。」(L阿部かな子)

東京ひかりライオンズクラブが認証状伝達式典 8月8日

大石ガバナー、山浦国際理事が祝辞

東京ひかりえLC



去る6月6日に結成会を行った東京ひかりライオンズクラブ(会長L 峯島孝雄、幹事L飯島光幸、所属:11R1Z、会員数:20名)は東京プリンスホテルにおいて認証状伝達式および祝宴を開催した。式典には大石ガバナー、山浦国際理事、河合全地区ガバナーが駆けつけ祝辞を述べたほか、多くの元ガバナーらが出席した。挨拶に立った峯島会長は「地に足のついた奉仕活動に徹したい」と力強く抱負を述べていた。スポンサークラブは東京数寄屋橋ライオンズクラブ



納涼ゆかた例会で小池百合子氏を含む6名が入会 8月18日

女性ならではの視点で奉仕活動を...

東京ウィルLC

涼しげな、ゆかた姿の女性が会場を彩り、何かうきうきとした雰囲気がある。これは女性のみのクラブ、東京ウィルライオンズクラブの「納涼ゆかた例会」である。震災孤児支援を目的に8月18日(木)、京王プラザホテルに113名が出席して華やかで楽しい例会となった。この日のメインは入会式、大石ガバナー、河合前地区ガバナーも会長に協力して厳かに6人の入会式が行われた。新入会員を代表して衆議院議員の小池百合子Lが抱負を述べ、会場からは大きな拍手がおくられた。窪田幸子会長は「新入会員を迎えたことでもあり、女性ならではの視点や心配りで奉仕活動に取り組みたい」と意欲を見せていた。



第1回キャビネット会議報告 7月25日

今期のキャビネット運営方針などを承認

7月25日(月)13:30より東京プリンスホテルにて今期の第1回キャビネット会議が開催された。キャビネット構成員のほか、各委員会から副委員長や委員、複合地区役員ら約280名が集まった。会議では幹事より国際協会からの連絡や国際会長プログラムの説明、今期のキャビネットの運営方針が示され、ガバナーからは「震災の復興支援や、青少年育成、薬物乱用防止活動に力を注ぎたい」旨、説明があった。その後、議案集や資料集に基づき各議案が審議され、各委員会からの報告がなされたのち、今年度のキャビネット一般会計予算などが原案通り可決された。詳しくは地区ホームページでご確認のこと。
<http://www.lions330-a.org/cabinet.html>



第1回会長会が開催されました 8月9日

YE協賛金、薬物乱用防止大会協力金などを要請

8月9日(火)キャビネット事務局近くの貸会議室AP西新宿において今期の「第1回会長会」が開催された。1R~14Rまでのクラブ会長171名、キャビネット役員約30名が集まり、10月16日(日)に開催されるライオンズ奉仕デー「ダメ・ゼッタイ薬物乱用防止大会」に関する協力要請と地区内メンバー人



当たり1,000円の拠出が第1回キャビネット会議にて承認されたことなどが報告された。また、平成23年9月1日(木)に憲政記念館にて開催される国際会長訪問に合わせて、国際会長からの要請により、会長セミナーを兼ねた各クラブ会長とのディスカッションの場にも出席されるよう案内があった。



被災地復興支援 アクティビティ

大石ガバナー、伊賀幹事らが被災地を視察

8月13日～14日

宮城県石巻市、女川市、南三陸町を訪問

330-A地区キャビネット

大石ガバナー、伊賀幹事らキャビネット幹事団5名が8月13日(土)～14日(日)東日本大震災の被災地の宮城県石巻市、女川市、南三陸町ほかを訪問した。新幹線で宮城県に向かった一行は、332-C地区の役員(阿部浩L)らの案内で車で被災地を視察した震災から5か月がたった今でも、ほとんど復興の進まない被災地を目の当たりにし、災害の大きさや悲惨さを実感した。332複合地区開発コーディネーター杉山正夫Lほか、石巻、女川のライオンズクラブ関係者らから、なかなか復興の進まない現状の話聞いたが、同時に希望を失わずに懸命に活動している話を聞くことができた。「今後、われわれ330-A地区が担うべき役割の大きさとニーズの重さを感じた。」とは幹事団の話である。(写真撮影:湯田啓一L、田中圭子L)



日比谷大盆踊り大会が実施され被災地にチャリティー 8月20日

会場で100円玉募金を集める

東京日比谷LC

東京都や千代田区、読売新聞、NTTコミュニケーションズ、日比谷ライオンズクラブ他が後援して、今年で9回目となる「日比谷公園丸の内音頭大盆踊り大会」が20日(二日間)予定の19日は雨のため中止)盛大に行われた。同大会は今年名称を変えて、東日本大震災の被災地復興を応援することとなり、民謡歌手の須藤圭子さん(宮城県出身)や福本恵美さん(福島県出身)によるミニコンサートのほか、会場で一人100円玉募金を呼びかけ約200万円が集まったほか、チャリティー抽選会が行われ、抽選会の収益や募金は読売光と愛の事業団を通じて被災地に送られた。



陸前高田に100万円届ける 7月9日

被災地のライオンズクラブに贈呈

東京西東京LC



東日本大震災で壊滅的な被害を受けた332-B地区の陸前高田LCへ義援金100万円を直接贈呈するため、西東京LCのメンバー5名が現地に赴いた。震災により、陸前高田LCでは30名のメンバーの内、会員7名とご家族14名の合計21名もの尊い命が奪われており、生き残ったメンバーが懸命に復興活動が行われている。

仮設のクラブ事務局に集まり、陸前高田クラブ会長の熊谷又吉Lに、5月29日開催の『第39回東日本復興支援チャリティゴルフ大会』(西東京LC主催/於:日本CC)の余剰金に各メンバーからのドネーション等合わせた100万円が手渡された。

西東京クラブメンバーは、事務局にて被災当日の状況や現況を聞き、陸前高田市役所周辺及び大船渡港等の被害の著しい現場を案内され、改めてその恐ろしさと、被害の大きさをや復興の困難さを感じ、西東京ライオンズクラブでは、今後も出来る限りの支援を約して帰路について。



被災地復興支援 アクティビティ

日本橋ライオンズクラブがふれあいコンサートを開催

8月23日

東京鎌ヶ崎衆の会とともに岩手県宮古市の同地区復興を支援

東京日本橋LC



日本橋ライオンズクラブでは、メンバーの坂下光男Lが会長を務める「東京鎌ヶ崎衆の会」(岩手県旧鎌ヶ崎町出身の在京者で組織)とともに、今回の東日本大震災の津波により、ほぼ壊滅状態にある岩手県宮古市鎌ヶ崎地区の復興を支援することを決定し、日本橋ライオンズクラブ結成55周年記念事業の「日本橋ふれあいコンサート」を同地区への復興支援チャリティーコンサートとして、日本橋劇場(中央区日本橋公会堂)にて盛大に開催した。コンサートでは支援物資の目録が被災地代表に贈呈されたのち、日本伝統舞踊伝承会の「地歌舞」が披露されたほか、視聴覚障害者音楽団体の歌や音楽が披露され、被災者及び関係者、視聴覚障害者や関係者、その他のボランティア団体関係者、地区内のライオンズクラブ関係者ら総勢約300名が楽しんだ。地区内のクラブからは被災地の炊き出し調理機材ほかの提供を受け、チャリティー支援金が70万円近く集まったと発表された。

東京ヒルズLCと阿久津副地区Gが宮城県南三陸町を訪問 7月8日

東京ヒルズライオンズクラブがチャーターを記念して被災地を支援 東京ヒルズLC

阿久津第1副地区ガバナー、梶原PR情報委員長、フルブライト奨学金で知られる日米教育委員会のサターホワイト氏が、東京ヒルズLC(8月29日認証状伝達式)の会長、幹事らとともに、ホワイト氏が提供を申し出た自家用自動車(ホンダのオデッセイ)を、宮城県南三陸町の南三陸志津川ライオンズクラブを通じて現地の復興に役立ててもらおうと、この乗用車を寄贈するために被災地を訪れた。

同行した東京ヒルズLCの橋本会長、芦澤幹事はクラブの認証状伝達式に向け、このほかに、子供用靴600足、子供用帽子220個も寄贈し、記念のアクティビティを実施した。

南三陸町長の佐藤仁氏(南三陸志津川ライオンズクラブ40代目会長)からは「50年前のチリ大地震の際にもやはり津波を受け仙台ライオンズクラブから支援を受け、その頃南三陸志津川ライオンズクラブが結成された」という話があり、現小坂会長(50代目会長)ら同クラブメンバーも大変元気で、復興に前向きな様子が満ち溢れ、「今後も継続して支援したい」と東京ヒルズLC橋本Lは話していた。



石巻市役所と牡鹿半島鮎川地区へ 7月9日

震災から4か月、ニーズの変化や経済活動の復活支援を考える 東京豊新LC



東京豊新ライオンズクラブでは2011年6月、石巻市役所からの依頼で、同市牡鹿半島鮎川地区の生活の質向上を目的とした発電機を4台寄贈(震災支援LCIF経由)した。7月の訪問は、使用状況と現地のニーズ変化、今後の支援方法などをリサーチするため石巻市役所産業部商工観光課と石巻市役所牡鹿総合支所を訪問した。

東日本大震災より4ヶ月経過し、ある程度街の機能が回復しているのではと期待しながら現地を訪れましたが、駅前商店街はシャッターが閉じられたままのお店が多く、津波被害が激しい地区の瓦礫整理は、まだまだ進んでいない状態であった。

寄贈した発電機は、牡鹿支所に隣接している公民館で使用されており、この公民館は電気の回復が遅れている施設であり、市民生活支援やボランティアの方々の作業配置などに役立っていた。

この夏製氷機があれば、魚を中心とした高い復活の可能性が広がるという話。また、元の商業地広場で、復興市場などを開催する場合のテントの不足、さらに清掃作業に必要な土のう袋、感染症予防の消毒薬・殺虫剤など被災地のニーズの変化にも対応する必要があると痛感した。(レポート:東京豊新ライオンズクラブ岩村L、赤尾L)

被災地復興支援 アクティビティ

ドイツより210万円、台湾より169万円の義援金 8月4日
 支援者からのメッセージを込めたTシャツ3600枚を贈呈 東京中野LC



東京中野ライオンズクラブでは、東日本大震災後、同クラブが姉妹提携する台湾の陽明山ライオンズクラブとその兄弟・子クラブからの義援金に加え、クラブメンバー

の知人でドイツ在住音楽家が所属するマールライオンズクラブ、さらに友好クラブであるハーゲンライオンズクラブからの義援金に同クラブからの義援金とを加え、これらを利用した効果的な支援方法を検討してきた結果、被災地出身の当クラブのメンバーが黒澤功記1人であることから、黒澤L出身の岩手県で、両親を失った被災孤児が一番多い陸前高田市への支援を決定した。

支援の第一弾として、陸前高田市の小中学生1627名に夏休み前にTシャツを送る案が決定し、3,600枚のTシャツを地元へ届けた。8月4日(月)市立高田第一中学校にて贈呈式が執り行われた。Tシャツのデザインは当クラブの幹事、佐藤光男Lが担当し、陸前高田市に残った1本の松を取り入れ、ドイツのライオンズクラブや同国民から寄せられた義援金が宛てられたことがわかるように、ドイツから日本へのメッセージの込められたもので、松のグリーンと海のブルーの2種類のTシャツとした。贈呈式が行われた現地では瓦礫の撤去が進んでいるとはいえ、未だ復興計画立案中の地域への搬入及び贈呈式のため、地元陸前高田ライオンズクラブおよび一関市の花泉ライオンズクラブとの合同アクティビティとして実施された。

東京葛飾東LC福島県双葉郡大熊町へ物資・義援金 7月27日
 洗顔石鹸1880個ほかを寄贈 東京葛飾東LC

東京葛飾東ライオンズクラブは7月27日(水)提携クラブである会津磐梯LCと共催で、会津若松市大熊町庁舎前において、大熊町の保育園、幼稚園の園児とその父母らを招いて、持参したダンボール7箱にも及ぶ「おもちゃ」を渡し、一日元気に遊んでもらうアクティビティを実施した。また、同伴のお母様方には洗顔石鹸を1,880個、そして大熊町の仮設住宅内に設置される集会場の茶飲みセット購入に当てるために会津若松市に対して50万円の義援金が渡された。同クラブでは「本アクティビティは地元の会津磐梯LCとの協力の中で実現できたもので、今後とも協力して“フクシマ”を支援していきたいと考えております」とのことです。



第12回杉並東ライオンズクラブ旗争奪中学生軟式野球大会を主催 8月20日~24日
 スポーツ精神の高揚と心身ともに健康な中学生に…! 東京杉並東LC

東京杉並東ライオンズクラブでは、同クラブと杉並区中学生軟式野球協会が主催する「第12回杉並東ライオンズクラブ旗中学生軟式野球大会」(第18回杉並区中学生軟式野球大会)が平成23年8月20日から24日



まで4日間にわたり行われた。この大会は、同クラブが「杉並区内の中学生に広くスポーツ実践の機会を与え、軟式野球技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、生徒の相互の友情を育てる。」という目的で、長年にわたり主催している大会で、今年も大石ガバナーや田中杉並区長(高井戸LC)らを招いて開会式が行われました。



東京ウエストライオンズクラブ「薬物乱用防止教室」 7月9日
 200名の児童、父兄らが集まる 東京ウエストLC

平成23年7月9日(土)、中野区立新井小学校に於いて、東京ウエストライオンズクラブ主催の「薬物乱用防止教室」が行われ、5年生・6年生の児童約140名とPTAの父兄約60名が参加した。



小倉豊会長の挨拶の後、15分のDVDが放映され、その後、30分にわたって五十嵐昌平Lが「薬物を乱用する恐ろしさ」などを説明した。話の後、子供たちからかなり活発な質問が出され、父兄からも「拝聴させて頂いてよかった。」という感想が寄せられ、たいへん有意義な薬物乱用防止教室が開催できた。



玉川地域少年野球大会表彰式 8月14日
 40年近くも地域の青少年育成に協力 東京玉川LC

東京玉川ライオンズクラブが世田谷区地域振興課、玉川警察署、防犯協会、青少年委員会と連携して1972年より継続して行っているアクティビティ「野球を通じて青少年の体力・技術の向上だけでなく防犯意識、チームワークの大切さを学び、健全育成」を目指している。今年度は13チーム、約400名が参加し、6月より熱戦を繰り広げ、8月14日(日)玉川野毛町公園野球場で決勝戦、表彰式が開催され、東京玉川ライオンズクラブよりトロフィーとメダルが授与された。



東日本復興支援

ダメ。ゼッタイ。

薬物乱用防止大会
 ライオンズ奉仕デー

ライオンズクラブ国際協会
 33001人地区

1. 開催日時
 平成23年10月16日(日)
 13:00-18:00

2. 会場
 目黒野球場

3. 費用
 無料

4. 参加人数 2000人
 中学生1000名、小学生1000名
 (小学生は保護者同伴)

5. 主催
 日本ライオンズクラブ連盟 200-4-88
 東京地区本部 200-4-88
 目黒野球場

6. 実施内容
 第一夜 第二夜

地区ホームページの活用

330-A地区ホームページにはクラブ運営やアクティビティの計画に役立つ情報が掲載されています。

それらを活用していただくために地区ホームページの各ページの中身のタイトルを紹介しています。

詳しくは、Webでご覧ください。ホームページはURL <http://www.lions330-a.org/> を直接入力するか、グーグル(google)等の検索で「ライオンズクラブ、330-A」と入力しても地区ホームページを検索することができます。

INDEX
見出しをクリックするとそれぞれページをみることができます。

1. トップページ
2. 運用方針
3. キャビネットの情報
4. 委員会の情報
5. クラブの情報
6. 発信文書
7. 投稿・お問合せ

1 トップページ

330-A地区内の主要なイベント・出来事・アクティビティなど最新のニュースを把握できます。

2 運用方針

今期大石ガバナーの運用方針が掲載されています。今期のライオンズクラブをどのように運用していくかという基本方針を述べています。

3 キャビネットの情報

キャビネットおよび地区委員会のイベント・スケジュール・活動内容・各種資料が確認できます。

- | | |
|------------|-------------|
| ①事務局所在地 | ⑥キャビネット会議資料 |
| ②ライオンズレート | ⑦発信文書 |
| ③行事日程 | ⑧フォーム |
| ④スケジュール | ⑨ガバナー公式訪問 |
| ⑤キャビネット組織表 | |

4 委員会の情報

委員会主催の行事やアクティビティなどが確認できます。

- ①諮問事項
- ②委員会開催案内様式
- ③委員会議事録用紙
- ④委員会議事録
- ⑤活動報告・資料
- ⑥活動(行事)予定
- ⑦委員会主催行

5 クラブの情報

地区内の各クラブのイベント情報・アクティビティ・周年行事が確認できます。

- ①330-A地区クラブ
- ②各クラブ事務局
- ③アクティビティ予定
- ④アクティビティレポート
- ⑤周年行事予定
- ⑥各クラブのHP

6 発信文書

地区キャビネットよりの連絡・通達文書が発信文書を閲覧できます。PDF書庫(2011年7月1日~2012年6月30日)の間のキャビネット発信文書)

7 投稿・お問合せ

地区ホームページにクラブのアクティビティを掲載する場合の約束や投稿先のアドレスを載せています。



ライオンズクラブ国際協会 タム会長が来日、東日本を公式訪問

8月30日香港からの飛行機で関西空港に到着したウィンクン・タム国際会長は関西地区での日程をこなし、9月1日(木)午前、東京へ到着した。大石ガバナーらが出迎えたのち、予定されていた憲政記念館での「東日本地区のクラブ会長らとのディスカッション」(13:00~14:30)に参加し、東日本各地から集まったクラブ会長らと、タム国際会長のテーマ「信じる」(I believe)、今期プログラムの百万本植樹キャンペーン、そして会員増強、家族会員、女性会員などについて積極的に質問し、タム会長は熱心に質問に答えた。この後、ホテルニューオータニで開催されたウィンクン・タム国際会長公式訪問(15:30~18:30)の席では、東日本地区を代表するメンバーらの歓迎を受け、会食を供にした。翌9月2日、午前、東京国立美術館で開催されている「孫文と梅谷庄吉展」を訪ねた後、日比谷の松本楼で昼食を摂り、午後は、台風12号の影響で、時々激しい雨が降る中、新宿駅東口のライオン像を訪れ、地元新宿LCのメンバーほか、駆け付けた330-A地区メンバーらに囲まれ歓迎を受けると、タム会長は「このように素晴らしい活動をされている皆さんに敬意を表する、世界で100万本の植樹を目指す今期もご協力をお願いします」と地区のメンバーらにエールを贈った。タム会長は翌9月3日、4日の日程で東日本大震災の被災地である宮城県他を訪れた後、5日午前羽田空港から帰国した。



素晴らしい活動を実践している地区のメンバーに、今期の活躍を期待します!



2011-2012 主要行事日程表

ライオンズ奉仕デー

●「ダメ。ゼッタイ」薬物乱用防止大会「ライオンズ奉仕デー」 2011年10月16日(日) 13:00~16:00 日比谷公会堂

OSEALフォーラム

●第5回 東洋・東南アジア・ライオンズフォーラム(OSEAL)
2011年11月24日~27日(ホスト地区 MD301)
フィリピン・マニラ(バサイ市)

OSEAL オフィシャルサイト
<http://oseal2011.com>



国際大会

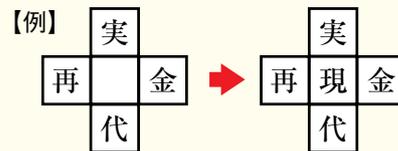
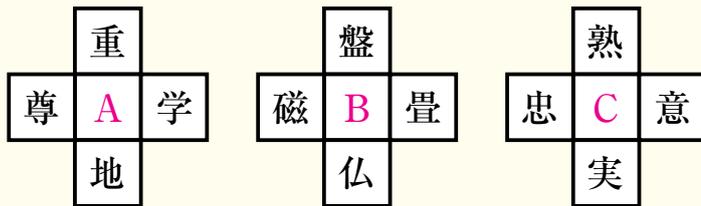
●第95回国際大会 2011年6月22日~26日 韓国・釜山市

年次大会

●330-A地区(第58回) 2012年4月21日(土) 東京プリンスホテル
●330複合地区(第57回)2012年5月13日(日) 浦和ロイヤルパインズホテル

懸賞コーナー クロスクイズとアンケートに答えてワインがもらえる

十字の中央のA,B,Cには、周りの漢字それぞれと二字熟語ができる漢字1文字がはいるます。最後に、中央に入る3つの漢字(AとBとC)でできる3文字の単語を教えてください。(熟語は上から下、左から右とします)



この賞品が
あたる!



【答え】 A B C

(ヒント)本誌「330A地区ガバナー」
の記事に隠されています。

応募方法

正解者の中から抽選で15人にワイン*をプレゼントいたします。

【締め切り】10月20日(当日消印有効、メール・FAXは送信日付当日まで)

【応募資格】地区内メンバーでサバンナeMMR登録者一人一週に限りです。

【あて先】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-17

新宿ダイカンプラザB館2F 地区ニュース懸賞係

【メール】pr@playtown.net

【FAX】03-5330-3370

◆メールまたはFAXに解答及び地区ニュースに対しての読者アンケートにお答えください。郵便番号・住所・氏名・電話番号・RZ・所属クラブ・年齢もお忘れなくお願いします。

※ワインはオーストラリア産赤スパークリングワインを地区内メンバーからのドネーションによりPR情報委員会で用意しました。

ドネーション者氏名：L田中圭子(麻布LC、キャビネット副幹事)

L林 照子(尾張町LC、会長)

◆発表は次号です。

アンケート

◆クイズといっしょにアンケートにも
ご協力ください

■今号の地区ニュースAutumn号はいかがでしたか?

- Q1. 面白かった記事は? その理由は?
- Q2. つまらなかった記事は? その理由は?
- Q3. 今後載せて欲しい記事は? その理由は?
- Q4. その他ご意見などお書きください。

つぶやき



◆ピンバッチに込められた思いとは

今期ガバナーピンバッチには、左右の獅子の顔に正面をみている顔が加わりました。それは過去から未来を見渡すと共に現在をしっかり踏まえ、今を見据えあらゆることに誠実に対応し前進しようというガバナースローガン「今を見据え、さあ! 始めよう」を表したものです。

そして、頭の3つの☆は、地区とクラブとメンバーを表し、3つが力を合わせライオンズを支えているのだというガバナーの思いが込められています。

ライオンズ国際協会330-A地区
地区ニュース 第1号(Autumn号)

The
Lions
News

発行日 2011年9月25日

発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長 梶原 正和(小金井)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)

編集委員 高尾 省吾(葵)
奥山 貞夫(葛飾)
和崎 健治(練馬)
矢追 秀紀(ウエスト)
柴田 誠(新都心)

編集委員 新田 尚志(麻布)
後藤 裕文(法政)
小森 康一(綾瀬)
山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
鈴木 郁朗(新宿)
佐藤 武雄(新都心)
戸矢崎 哲(中野)

ライオンズ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダンカンプラザB館2F
TEL (03) 5330-3330
FAX (03) 5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org